

林道における落石防止対策

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要：秋田県と岩手県を繋ぐ林道において、5か年加速化対策により落石防止網を整備。令和6年7月豪雨の際は、他林道が落石等で通行止めとなる中、本事業箇所には被害は発生せず、安全な通行の確保がなされた。

対策名：4 山地災害危険地区等における森林整備対策<5か年加速化対策>【農林水産省】

- 実施主体：林野庁東北森林管理局
- 実施場所：秋田県仙北郡美郷町（真昼岳林道）
- 事業概要：

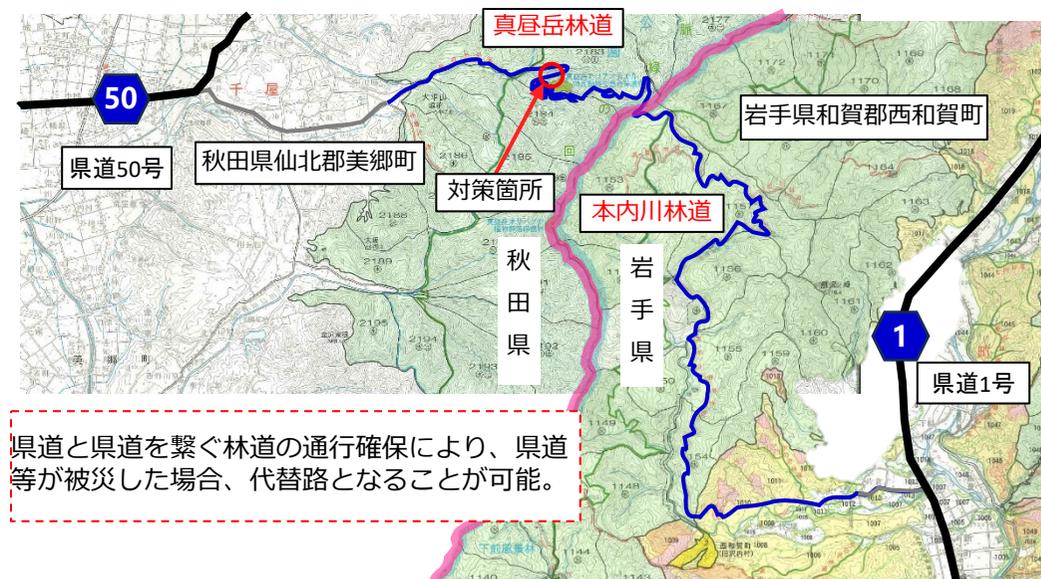
秋田県仙北郡美郷町を起点とし岩手県和賀郡西和賀町の林道に接続する真昼岳林道において風化、亀裂が発達した不安定切土法面に対し落石防止網等を整備。

- 事業費：約22百万円
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）約22百万円）

- 効果：

本事業箇所付近では、令和6年7月25日からの大雨で時間雨量最大30.5mm、24時間最大96mmの雨量が観測され、近隣の複数の林道では法面の崩土や落石等が発生した。対策工事を実施した本事業箇所においては、落石等による被害が発生せず、安全な通行を確保できたため、森林整備の継続が可能となった。

また、当該林道は秋田県と岩手県の県道を繋いでおり、被害が発生しなかったことにより、災害時の代替路としての機能も維持された。



秋田県仙北郡美郷町大又赤倉国有林 5か年加速化対策



林道対策工事完了後(R4)



令和6年9月の状況
対策箇所の林道施設に被災はない